

第8回

九州「川」のオープンカレッジ

in筑後川

筑紫次郎のいまむかし



江戸時代から今日まで、日本屈指の暴れ川を治め、利用してきた先人達の知恵や苦勞そして功績を、講義と実地研修に学び、これからの河川と人との関わり方を考える3日間。どうぞご参加ください！

- 開催日:平成 23 年 9 月 2 日(金)～4 日(日) 初日 13:00 に会場集合
- メイン会場:久留米大学御井キャンパス 学生開館 3 階
- 参加費:5,000円 (初日夕食と交流会参加費。朝食は各自負担。詳しくは裏面に記載)
- 対象:18歳以上の方50名 (高校生不可)
- 申込方法:EメールまたはFAXにて。8月5日(金)受付しめ切り。

申込用紙は
ウラ面です

- 全体の行程・※スケジュールは予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。
- 2日(金) 13:00 開講・オリエンテーション 13:15～20:00 講義 (連中夕食会をはさむ)
- 3日(土) 8:30 フィールドワーク(筑後川現地視察学習) 18:00 特別講義 19:00 交流会
- 4日(日) 9:00 グループ討議/全体討議 13:00 閉講
- 終了後、希望者には筑後川でのEポート・カヌー体験、筏づくり体験のオプションあり(参加費別)

- 講義のテーマ(予定)
- 筑後川総論、筑後川の治水事業、筑後川の四大井堰、福岡導水と広域行政、水天宮の景観設計、山田堰に象徴される日本の伝統工法とアフガニスタンの復興事業、東日本大震災でのテックフォースの活動

- 現地学習訪問先(予定)
- 高良大社、大石堰、長野水神社、大石用水、大石分水路、山田堰、堀川用水、三連水車、恵利堰と周辺の治水施設、福岡導水、水天宮・瀬ノ下の河川敷、筑後大堰

- 主催:第8回九州「川」のオープンカレッジ実行委員会
- 共催:社団法人北部九州河川利用協会
- 後援:国土交通省九州地方整備局、久留米市、九州流域連携会議
- 協力:久留米大学、NPO法人筑後川流域連携倶楽部、筑後川まるごと博物館、筑後川防災施設ぐるめウス



■講師陣:15名

- ・〈学長〉宮崎大学 杉尾名誉教授
- ・〈委員長〉久留米大学 駄田井教授
- ・NPO法人筑後川流域連携倶楽部 平田理事
- ・国交省 筑後川河川事務所 松尾所長
- ・ペシャワール会 福元事務局長
- ・福岡都市圏広域行政事務組合 泉事務局長
- ・筑後川まるごと博物館 成毛副館長
- ・九州大学 樋口准教授
- ・国交省 筑後川河川事務所 井上計画課長
- 《特別講義》
- ・国交省 九州地方整備局 中嶋局長

■聴講者:42名

- ・テレビ長崎:1名
- ・九州地方整備局:1名
- ・水土里ネット山田堰:1名
- ・九州大学:1名
- ・福岡工業大学:1名
- ・久留米大学:22名
- ・福岡大学:9名
- ・九州大大学院:1名
- ・久留米大大学院:2名
- ・東海大学:3名